縄跳び大会の講話　　　令和３年１月２５日（月）　５限目１４：００～１４：４５

　鵜川小学校には、こんな子供に育ってほしいという目指す児童の姿が３つあります。

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「たくましい子」です。

「たくましい子」というと「体がしっかりしている」「張り切っている」「元気でいきいきしている」など体や心が健やかで力強い様子が考えられますが、今日の縄跳び大会では、まさにみなさんの「たくましい子」の姿を見ることができました。

始業式で校長先生が「目標を考えるときに、具体的な数を入れた目標にすると取り組みやすいです。」と話をしたので、回数などの目標を決めた人もいると思います。でも今日はその目標に達しなかった人もいるかもしれません。

目標の数値に達成することも大事ですが、それよりも目標に向かって毎日頑張って練習してきたことや、本番でたくましく挑戦できたことのほうが大事だと思うので、きっと今日はみなさん達成できていたと思います。

特に校長先生がいいなと思ったことがたくさんあります。縦割り班や各学年の８の字跳びでタイミングを合わせながら「はい・はい・はい」と縄を回していた高学年の暖かい眼差し。自分が跳べた時のうれしそうな笑顔。頑張ったみんなへの惜しみない拍手。上級生も下級生もみんなの「頑張って！」という応援。みんなの大きな力になっていました。そして、鵜川小学校の学年を問わず仲の良さをたくさん感じることができました。

まさに、上谷さんの選手宣誓での「コロナに負けずに、思い出に残る縄跳び大会にしましょう。」の縄跳び大会になりました。たくさんの保護者にも参観していただきありがとうございました。

この後も「６年生を祝う会」や「卒業式」などの行事がありますが、鵜川っ子の良いところがたくさん見られことを楽しみにしています。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長　永草　いづみ